

議題2（委員会決裁事項（規則第3条第1号））

大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校  
再編整備計画に基づく平成30年度実施対象校（案）について

標記について、別紙のとおり方針を示し周知を行うことを決定する。  
その上で、様々な意見を踏まえ、11月の教育委員会会議において最終決定する。

平成30年8月30日

大阪府教育委員会

### 1 2018（平成 30）年度の方針

2018（平成 30）年度は、統合整備による新校の設置、工科高校における改編に着手する。

### 2 統合整備により多部制単位制高校として開校する学校

対象校	所在地	新校募集 開始時期	既存校募集 停止時期	使用校地
かつやま 勝山高校	大阪市	2020 年度 入学者募集時	2020 年度 入学者募集時	現勝山高校 校地
ももだに 桃谷高校 (多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部)	大阪市			

※桃谷高校多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部の募集停止に合わせて、桃谷高校通信制の課程昼間部の募集定員の拡充を図る。また、桃谷高校多部制単位制Ⅲ部については、現校地に引き続き設置し、2020 年度の入学者から夜間定時制の課程に改編する。

### 3 改編する工科高校

対象校（所在地）	改編時期
いまみや 今宮工科高校 (大阪市)	2020 年度 入学者から
ふじいでら 藤井寺工科高校 (藤井寺市)	
さの 佐野工科高校 (泉佐野市)	

## 4 対象校の選定理由

### (1) 統合整備による多部制単位制高校の設置

#### 勝山高校と桃谷高校

- ・ **勝山高校**は、1922（大正 11）年の開校以来、進学や就職といった多様な進路希望に応える教育活動で多くの成果をあげてきた普通科の高校である。2013（平成 25）年度より「協働的な学び」による授業改善や基礎学力の定着のための「朝学」、進学希望者の補講「ゆめ学」の実施など、学校の魅力向上に努めてきた。しかし、中学校卒業者数が減少する中、学校や関係者の尽力にもかかわらず、2016（平成 28）年度以降 3 年連続して入学を志願する者が定員に満たない状況が続いている。

また、勝山高校の在籍生徒の主たる居住地の行政区（大阪市生野区、大阪市平野区、大阪市東住吉区、東大阪市、八尾市）における今後の中学校卒業者数は減少傾向にあり、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況である。

- ・ 同校の西約 2.4 km に立地する**桃谷高校**は、1966（昭和 41）年に大阪府内で唯一の通信制の課程を設置する公立高校として開校し、現在、多部制単位制Ⅰ部、Ⅱ部及びⅢ部と通信制の課程（昼間部及び日夜間部）を併置する高校である。

近年、同校通信制の課程昼間部における志願倍率は、高い水準で推移しているが、昼間部のスクーリングを実施する時間と多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部（以下「多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部」という。）の活動時間とが重なるため、施設・設備の使用に制約があり、募集定員の拡充を図ることができない状況にある。

一方で、同校多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部は、自分の生活スタイル等に合わせて学ぶ時間帯や卒業までの期間を選択できる柔軟な教育システムを持ち、志願倍率も高い水準で推移している。

- ・ 以上のことから、勝山高校と桃谷高校多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部を統合整備による再編整備の対象とすることとし、新たな高校を現勝山高校の校地校舎を使用して設置することとする。

新たな高校は、不登校経験者など様々な理由により自分の生活スタイルやペースに合わせた高校就学を希望する生徒を受け入れる学校とする。そのため、これまで桃谷高校多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部が実践してきた柔軟な教育システムを採用するとともに勝山高校が大切にしてきた基礎学力定着のための指導を継承・発展させ、個々の生徒の状況に応じた丁寧できめ細かな指導を行っていく。

なお、新たな高校の校名については学校関係者の意向を踏まえて決定する。

- ・ 上記の統合整備に合わせて、桃谷高校通信制の課程昼間部の募集定員の拡充を図る。また、桃谷高校多部制単位制Ⅲ部については、現校地に引き続き設置し、2020 年度の入学者から夜間定時制の課程に改編する。

《参考》

1. 入学者数の状況

＜勝山高校＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (H30)	
		H26	H27	H28	H29	H30			
普通科	前期選抜	募集定員 (人)	80	80	-	-	-	1922 (T11)	426
		入学者数 (人)	80	80	-	-	-		
	後期 (一般) 選抜	募集定員 (人)	160	160	240	240	240		
		入学者数 (人)	160	160	198	177	128		
	二次選抜募集定員 (人)		-	-	42	63	112		
	二次選抜入学者数 (人)		-	-	14	19	38		
	志願割れ数 (人)		-	-	28	44	74		
倍率		1.08	1.02	0.83	0.74	0.53			

※H27までは前期選抜・後期選抜、H28からは一般選抜として実施

※倍率については、H27までは後期選抜、H28からは一般選抜の値を記載

＜桃谷高校多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (H30)		
		H26	H27	H28	H29	H30				
普通科	前期 (特別) 選抜	Ⅰ部	募集定員 (人)	30	30	60	60	60	2005 (H17)	537
			入学者数 (人)	30	30	60	60	60		
		Ⅱ部	募集定員 (人)	10	10	25	25	25		
			入学者数 (人)	10	10	25	25	25		
	後期選抜	Ⅰ部	募集定員 (人)	30	30	-	-	-		
			入学者数 (人)	30	30	-	-	-		
		Ⅱ部	募集定員 (人)	15	15	-	-	-		
			入学者数 (人)	15	15	-	-	-		
	志願割れ数 (人)		-	-	-	-	-			
倍率		1.16	1.20	1.18	1.39	1.19				

※H27までは前期選抜・後期選抜、H28からは特別選抜として実施

※倍率については、H27までは後期選抜、H28からは特別選抜の値を記載

学科	選抜結果							
		H26	H27	H28	H29	H30		
普通科	編転入	Ⅰ部	募集定員 (人)	60	60	60	60	60
			入学者数 (人)	60	60	60	60	60
		Ⅱ部	募集定員 (人)	15	15	15	15	15
			入学者数 (人)	15	15	15	15	15
	志願割れ数 (人)		-	-	-	-	-	
	倍率		1.65	1.48	1.41	1.12	1.36	

＜桃谷高校通信制の課程昼間部＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (H30)	
		H26	H27	H28	H29	H30			
普通科	後期 (一般) 選抜	募集定員 (人)	230	230	230	230	230	1966 (S41)	1,316
		入学者数 (人)	230	230	230	230	230		
	志願割れ数 (人)		-	-	-	-	-		
	倍率		1.34	1.23	1.04	1.03	1.17		

※H27までは後期選抜、H28からは一般選抜として実施

※倍率については、H27までは後期選抜、H28からは一般選抜の値を記載

学科	選抜結果						
		H26	H27	H28	H29	H30	
普通科	編転入	募集定員 (人)	150	150	150	150	150
		入学者数 (人)	150	150	150	150	150
	志願割れ数 (人)		-	-	-	-	-
	倍率		1.79	1.91	1.67	1.79	1.85

2. 勝山高校の入学者に占める割合が高い5つの行政区（大阪市生野区、大阪市平野区、大阪市東住吉区、東大阪市、八尾市）から勝山高校と桃谷高校Ⅰ・Ⅱ部に入学した生徒の割合（H29年度）

行政区	勝山高校	桃谷高校Ⅰ・Ⅱ部
大阪市生野区 大阪市平野区 大阪市東住吉区 東大阪市 八尾市	75.0%	25.9%

3. 今後の中学校卒業生数の見込み

《大阪市生野区、大阪市平野区、大阪市東住吉区、東大阪市、八尾市》

年月	2017 (H29).3	2018 (H30).3	2019.3 (H31).3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
卒業生数（人）	10,255	9,770	9,330	9,190	8,490	8,590	8,700	8,450	8,180	8,070

※2017（平成29）年3月～2026年3月の中学校卒業生数は、学校基本調査（平成29年5月1日現在）による府内公立小・中学校在籍児童・生徒数から推計したものの。

## (2) 工科高校の改編

- ・ 工科高校 9 校については、「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（2019（平成 31）年度から 2023 年度）」において、各校が持つものづくり教育の強みを際立たせるとともに、実践力と技術の進展に対応できる力を身に付けさせるためのきめ細かな指導の実現、大学や企業等との連携の深化等に向けた取組みを進めることとしている。
- ・ 具体的には、先端技術についての学習機会を拡充するとともに、技術の高度化及び情報技術の発展等への対応や技能向上を図る教育課程等の検討、PBL（※）の導入等を進めることとする。また、取組みを進めるにあたっては大学や企業等との連携を推進するとともに、学校規模については、原則として 1 学年 6 学級 35 人編制とする。
  - ※PBL（Project-Based Learning）： 課題解決型学習。自ら設定した課題、または与えられた課題を解決していく過程で、様々な能力を育成する学習。
- ・ 本年度については、3つの重点化タイプ（高大連携重点型、実践的技能養成重点型、地域産業連携重点型）から各 1 校を選び、次の 3 校の改編に着手するとともに、他の工科高校へ示す PBL モデルの構築、課題の整理等も行うこととする。
  - なお、他の 6 校についても、次年度以降順次改編を進める。
- ・ **今宮工科高校**は、高大連携重点型校として工学系大学進学専科を設置し、機械、電気、建築のほか工科高校唯一のグラフィックデザイン系を設置している学校である。同校においては、情報技術の発展に対応していくため、グラフィックデザイン系を中心にコンピュータグラフィックスに関する授業に積極的に取り組んでおり、この取組みを一層発展させるため、今年度の実施対象校とする。
- ・ **藤井寺工科高校**は、実践的技能養成重点型校として機械、電気、メカトロニクス系を設置している学校である。同校においては、すべての系において自動制御など、今後、AI等の進歩でさらに進展が見込まれる分野に重点をおいた授業に取り組んでおり、この取組みを一層発展させるため、今年度の実施対象校とする。
  - なお、同校は、2016（平成 28）年度以降 3 年連続して入学を志願する者が定員に満たない状況が続いているが、この間の募集停止校と比べ募集規模が比較的大きい中、定員充足率が高い状況で推移していることや近隣地域における再編整備の状況等を総合的に勘案し、志願者数改善の見込みはあると判断した。
- ・ **佐野工科高校**は、地域産業連携重点型校として、機械、電気のほか工科高校唯一の産業創造系を設置している学校である。同校の産業創造系においては、ブレインストーミングなどアイデア創出のための授業や実習を通して新しい製品を開発する実践に積極的に取り組んでおり、この取組みを学校全体での課題解決型学習に発展させるため、今年度の実施対象校とする。

《参考》

1. 入学者数の状況

＜藤井寺工科高校＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (H30)	
		H26	H27	H28	H29	H30			
専門学科	前期選抜	募集定員 (人)	320	320	-	-	-	1967 (S42)	787
		入学者数 (人)	320	320	-	-	-		
	一般選抜	募集定員 (人)	-	-	320	320	280		
		入学者数 (人)	-	-	305	313	266		
	二次選抜募集定員 (人)		-	-	15	7	14		
	二次選抜入学者数 (人)		-	-	2	4	4		
	志願割れ数 (人)		-	-	13	3	10		
倍率		1.21	1.17	0.95	0.98	0.95			

※H27までは前期選抜、H28からは一般選抜として実施

※倍率については、H27までは前期選抜、H28からは一般選抜の値を記載

2. 全入学者に占める割合が高い5つの行政区（大阪市平野区、羽曳野市、藤井寺市、松原市、富田林市）から藤井寺工科高校に入学した生徒の割合（H29年度）

行政区	藤井寺工科高校
大阪市平野区 羽曳野市 藤井寺市 松原市 富田林市	69.4%

3. 今後の中学校卒業生数の見込み

《大阪市平野区、羽曳野市、藤井寺市、松原市、富田林市》

年月	2017 (H29).3	2018 (H30).3	2019.3 (H31).3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
卒業生数 (人)	5,665	5,420	5,110	5,030	4,630	4,480	4,590	4,490	4,270	4,170

※2017（平成30）年3月～2026年3月の中学校卒業生数は、学校基本調査（平成29年5月1日現在）による府内公立小・中学校在籍児童・生徒数から推計したもの。